



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第83号(2010年12月30日)



【エジプトの債券事情】

エジプト政府が自国の債券市場の発展に取り組んでいます。

エジプトはその堅実な経済成長により、投資対象としての注目を集めています。しかし株式市場と比べると債券市場はまだあまり発達していません。市場に厚みがなく流通市場ではあまり取引が活発ではないため、エジプト政府は起債時に発行価格を抑えられています。

いわゆるQE2と呼ばれるアメリカの金融緩和策により、安くドルを仕入れた投資家にとって、エジプトの国債は、その利回りが大変魅力的になっています。統計によれば、2009年9月の時点では外国人投資家のエジプト国債の保有高は102億エジプト・ポンドでしたが、2010年9月の時点では648億エジプト・ポンドにまで上昇しました。

一方で、投資家からの強い需要にもかかわらず、政府は高い利息を支払う必要があります。これは、投資家が満期前に売却したい時に、流動性が乏しいため売却が困難であることが原因であると、市場関係者は指摘しています。

また、流通市場が活発になれば、国債だけではなく社債の発行も後押しされると期待されます。現状ではほんの一握りの企業のみが債券を発行しており、また、それらの債券はあまり活発には売買されていません。

現状では国債発行時に債券を引き受けることができるのは15の銀行に限られています。これらの銀行にマーケット・メーカーとして国債の価格提示をさせるといった市場改革案が現在検討されています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【アラブ首長国連邦建国記念日】

12月2日はアラブ首長国連邦の建国記念日でした。イギリスから独立して39周年になるそうです。当日は国中で国旗が掲げられて様々なイベントが行われました。

去年の今頃はいわゆるドバイ・ショックの直後でお祭りムードも今ひとつだったようですが、今年にはぎやかに祝われたようです。

いわゆるデコカー（装飾された車）のコンテストもあり、約400の車、バイクの中から12の作品が選ばれ、優勝者には39,000ディルハムの賞金が与えられました。



【中東のオイルマネーがロシアに】

ウォール・ストリート・ジャーナル紙によれば、アラブ首長国連邦の、いわゆる政府系ファンド（SWF）の一つであるムバダラ・ディベロプメント・カンパニーが、ロシアに投資するヘッジファンドに1億ドルの投資をすると発表しました。これは、中東の政府系ファンドによるロシアへの初の直接の投資となるそうです。

アラブ首長国連邦の駐ロシア大使であるGhobash氏によれば、これまで他の途上国への投資は活発であったもののロシアについては慎重に見ていたが、ロシア市場への関心が高まっているとのこと。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ワールドカップが初めて中東へ】

12月2日にチューリッヒで開かれたFIFA国際サッカー連盟の理事会で、2018年大会の開催地がロシアに、2022年大会の開催地がカタールに決まりました。ワールドカップの中東での開催はこれが初めてのケースとなります。

これを受けて、カタールで生まれた女の子にFifaという名前をつけたご両親がいると、カタール・デイリー紙は伝えています。この家ではもともと別の名前を決めていたものの、カタールでの開催決定を聞いてFifaと名づけたのだそうです。

カタールでワールドカップが開かれる頃、Fifaさんは12歳になっています。中東の暑さなどの問題もありますが、現地での素晴らしいワールドカップの開催が望まれます。尚、暑さ対策でワールドカップの開催を冬にずらす案も検討されているようです。

【FIFAクラブワールドカップ】

去年に続き、FIFAクラブワールドカップがアブダビで開かれました。以前のトヨタカップが半ば継承された形で現在の運営に繋がりましたが、今年は開催国が日本ではなかったこともあり、また、アジア王者は韓国の城南が勝ち取ったこともあり、残念ながら日本からの参加チームはありませんでした。

原稿執筆段階ではまだ大会は開催中ですが、開催国枠のアルワハダ(アラブ首長国連邦)が大会初日にオセアニア代表のヘカリ・ユナイテッド(パプアニューギニア)を3-0で下したものの、準々決勝においてアジア代表の城南に4-1で敗れたとのことでした。

なお、2011年と2012年については日本で開催されることが決定されており、現状ではJリーグの優勝チームが開催国枠で参加できる見込みです。

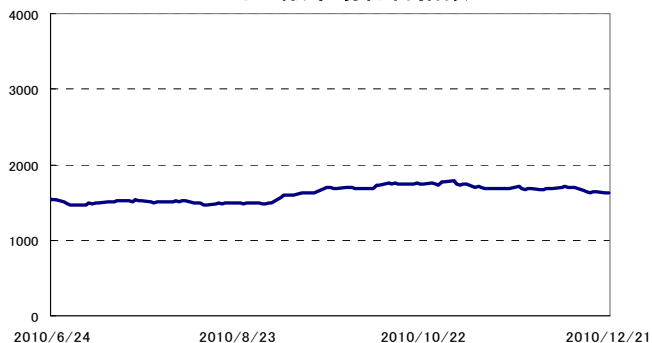


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

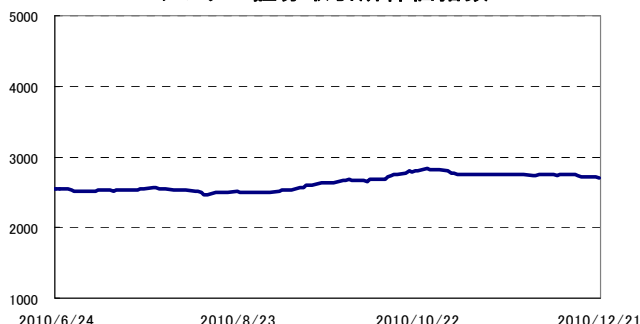


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

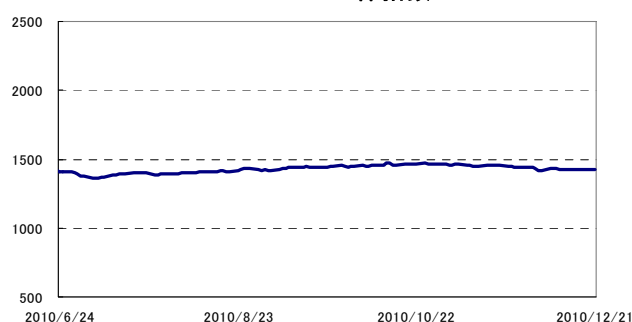
ドバイ金融市場総合指数



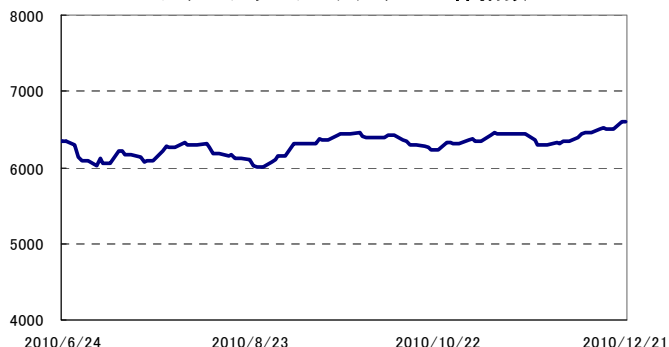
アブダビ証券取引所株価指数



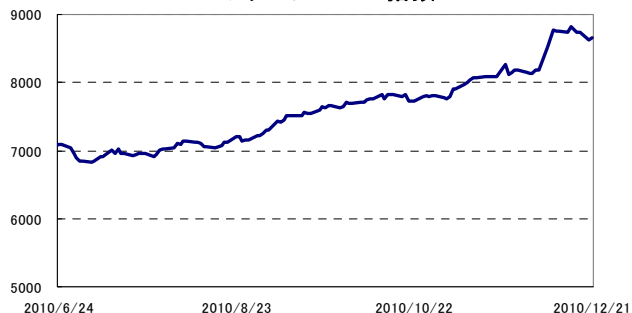
バーレーン全株指数



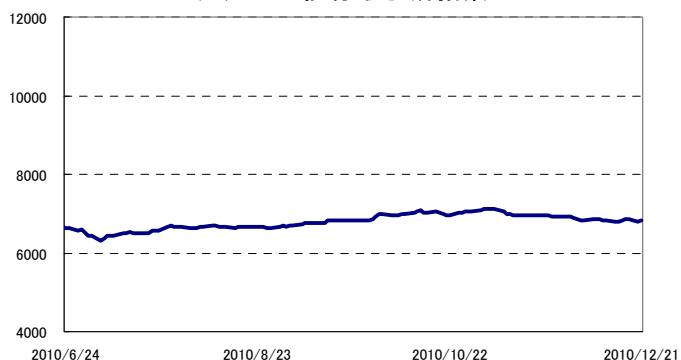
サウジアラビア タダウル全株指数



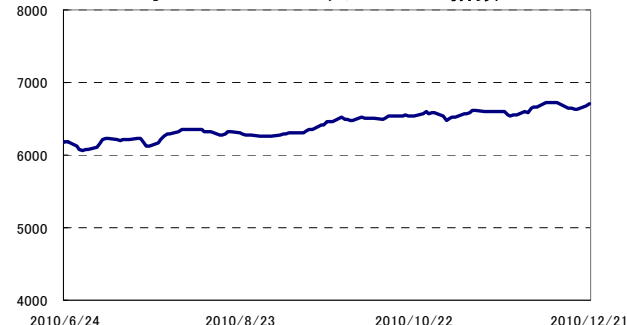
カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。